



ANGPTL, Angiotensin-like Assay Kits

メタボリックシンドロームなどの生活習慣病や、がんの新しい治療標的として、注目されるANGPTLファミリー測定キット

- 研究用試薬 -

Assay Kits

【検出対象】 H: ヒト M: マウス R: ラット

製品コード	検出対象	製品名	定価 (税抜き)	測定範囲	測定対象		
					血清	EDTA-血漿	培養上清
27745	H	Human ANGPTL2 Assay Kit - IBL	120,000円	0.05 – 3.5 ng/mL	○	○	○
27750	H	Human ANGPTL3 (highly sensitive) Assay Kit - IBL	98,000円	0.47 – 30 ng/mL	○	○	○
27749	H	Human ANGPTL4 Assay Kit - IBL	98,000円	23.44 – 1500 pg/mL	○	○	○
27410	M	Mouse angiotensin-like 3 Assay Kit - IBL	98,000円	0.31 – 20 ng/mL	○	○	○

アンジオポエチン様タンパク質 (ANGPTL, Angiotensin-like protein) は、血管新生因子であるアンジオポエチンに構造上類似する分泌型タンパク質で、これまでに7種類のANGPTLが同定されています。ANGPTL2は血管細胞や単球細胞に作用することが分かっていますが、この他にもANGPTL3やANGPTL4は脂質代謝、AGF (Angiotensin-like growth factor)/ANGPTL6はエネルギーや糖の代謝において重要な役割を果たすことなどが報告されています。これらタンパク質の血中濃度定量ELISAキットを提供しております。

ANGPTL2 ELISA

- 肥満では内臓脂肪組織からの分泌が増加し、脂肪組織の慢性炎症を引き起こします。結果、全身でのインスリン抵抗性が生じ糖尿病の発症につながっていると考えられています。
- ANGPTL2の増加が、動脈硬化症の前病変として考えられている血管内皮細胞の炎症性病変を引き起こすことが報告されております。
- 炎症性病変から多くのがん病変への進展において、血中ANGPTL2の増加を示す研究が報告されております。

ANGPTL3 ELISA

- ANGPTL3は肝臓より分泌され、脂質代謝や血管新生に関わるホルモン様のタンパク質です。
- ANGPTL3はLXRにより遺伝子発現制御を受けることも知られており、新たな分泌因子として注目されています。
- Tieファミリーとの結合は認められていません。

ANGPTL4 ELISA

- ANGPTL4は脂質および糖質の代謝に重要な役割を果たしており、LPL活性を阻害して血中のTG濃度を上昇させます。
- また一方で、血管統合性を制御することで、乳癌の肺転移に関与するとも考えられています。

取扱い販売代理店